2018 年度中間決算説明会　主な質疑応答

2018 年 11 月 27 日（火）に開催した 2018 年度中間決算説明会における主なご質問および当社の回答は以下の通りです。

Q．今年度までの現中期経営計画に関する手応えと課題について教えて欲しい。

A．事業性貸出残高については、当初の想定よりも伸ばすことができた。預かり資産販売体制の強化と貸出金のプライシングが今後の課題と考えている。

Q．来年度以降の資本政策について教えて欲しい。

A．資本政策について具体的に検討している事項はない。優先株式については、良質な自己資本と考えているが、自己資本比率規制上は算入額が減少していくこととなるので、自己資本比率の状況に応じて検討していきたいと考えている。

Q．長期的な視点でどのような取り組みが重要と考えているか。

A．依然厳しい環境が継続しているが、決して永続的なものではないと考えている。このような時期であるからこそ、無理に収益を追うのではなく、取引基盤を確立していくことが重要であり、将来に繋がると考えている。

Q．リスクアセットの今後の見通しと考え方について教えて欲しい。

A．金利環境等を鑑み、リスクに見合ったリターンが確保できているか等を勘案し、リスクアセット総体をコントロールしていく。

Q．金融再生法開示債権がやや増加しているが、クレジットの質について懸念はあるか。

A．ミドルリスク先の貸出にも取り組んでいるが、全体的な質は悪化していない。足元では、北海道における震災の影響を注視している。

Q．人財育成における資格取得促進についてどのように取り組んでいるか。

A．報奨金や、受験費用を会社負担とする制度もあるが、何よりも本人への意識付けが重要と考えている。

Q．業務効率化をすすめる一方で、ＥＳ（従業員満足度）についてどのように考えているか。

A．業務効率化によって収益力を向上させるように取り組み、努力した職員に報いることも考えていきたい。また、コンサルティング提案など高度な仕事に挑戦し成功体験を得ることで、仕事に「やりがい」が生まれ、ＥＳ、そしてＣＳ（顧客満足度）向上にも繋がると考えている。

以　上